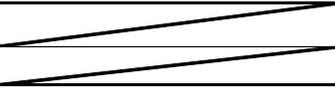


個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	視覚障害者センター			所在地	岡山市北区西古松268-1		
敷地面積	604.73 m ²			棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	753.12 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	視覚障害者の福祉の増進を図るため身体障害者福祉法第34条に基づき設置された視覚障害者情報提供施設						
【想定される自然災害】							
予想震度		6弱		津波		—	
				浸水		0.01m～0.2m未満	
建築規制	市街化区域、第2種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 ()			
	38,902 kwh	4,995 m ³	433 m ³	— 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし						

1 施設内建物の概況

名称	本館		
築年(西暦)	1985年		
構造	鉄筋コンクリート造 3階		
建築面積	280.30 m ²		
延床面積	753.12 m ²		
主要な用途 (室名等)	事務室 点字書庫 会議室		
主要な設備 (屋外を含む)	電気設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 昇降機		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化の進んだ設備等について、更新・修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	設備等の更新・修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化の進んだ設備等について、更新・修繕・改修を行う。

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
本館	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)				屋根			屋根防水			屋根 防水	
									受変電設備			
							自動火災報知設備					
							昇降機					
									空調設備			空調 設備
										照明設備 LED		
										西南窓ガラス		
										南窓建具		

4. 概算費用

総額 1億円

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H6.1	本館棟の設備等の定期更新(受変電設備、照明設備LED、西南窓ガラス、南窓建具)のスケジュール変更
H8.1	本館棟の設備等の定期更新(屋根防水、空調設備)のスケジュール変更